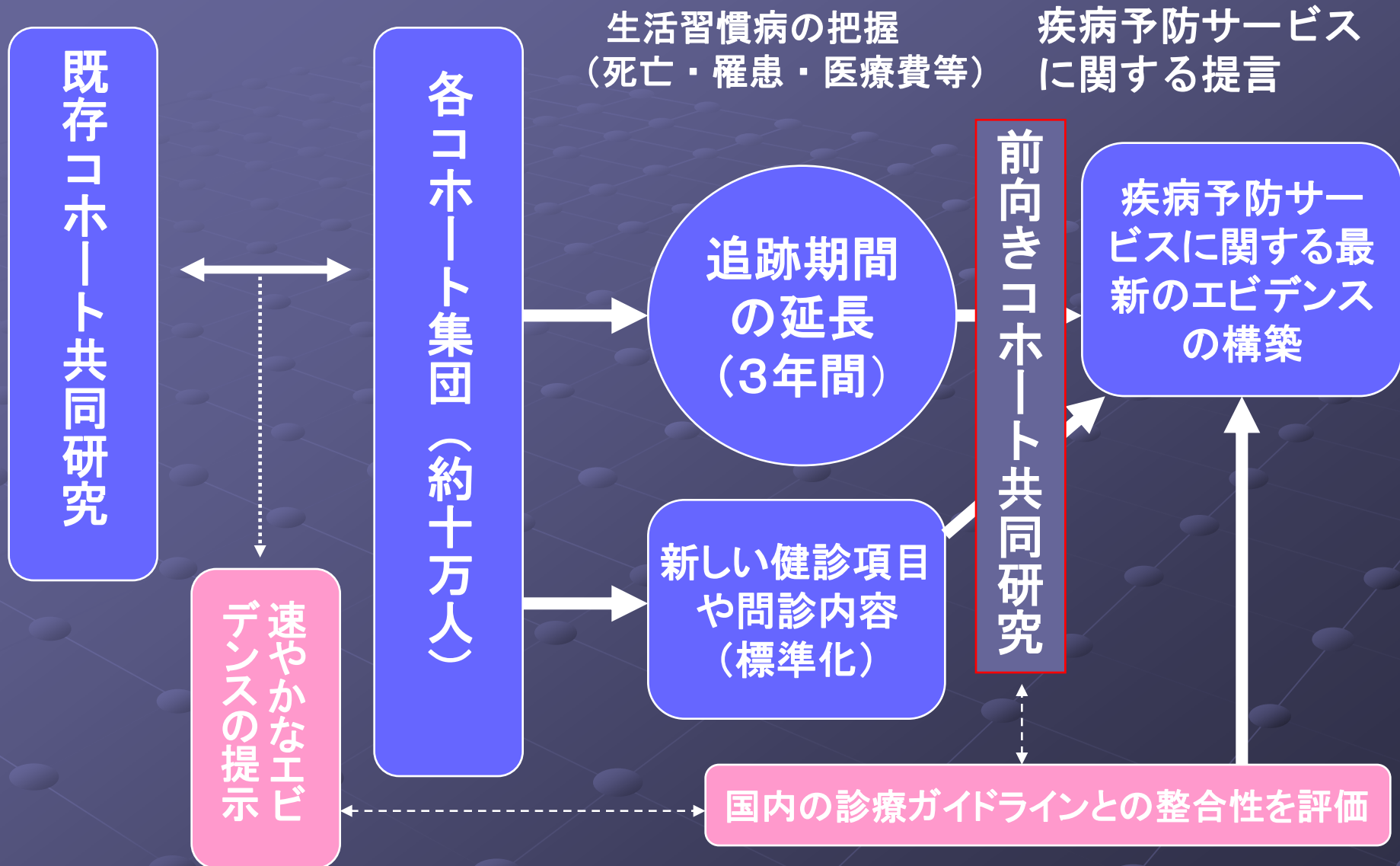


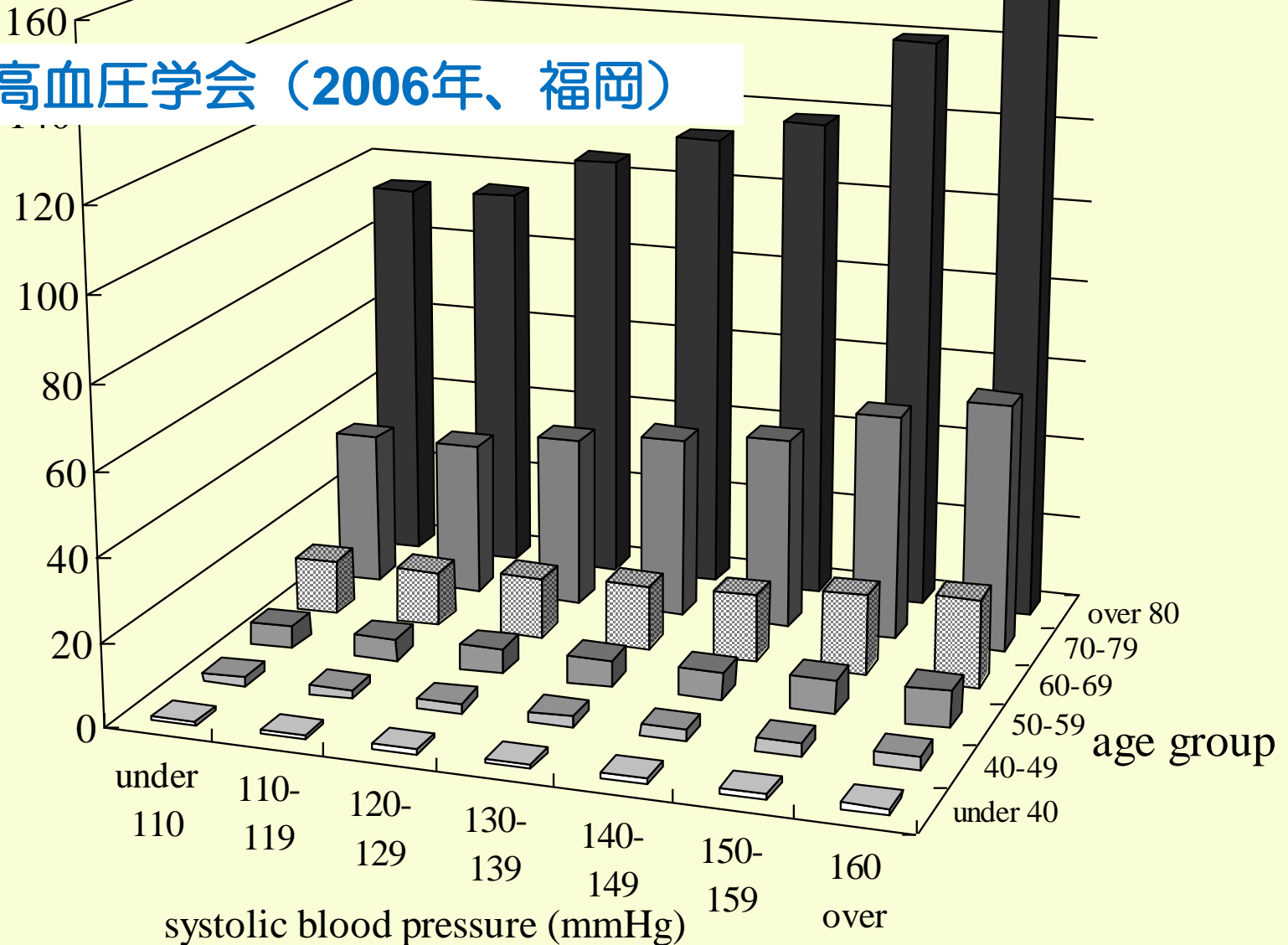
# 概要と期待される成果



国際高血圧学会（2006年、福岡）

Hazard ratio

Men



Reference level of the graph above is the group aged under 40 and SBP under 110 mmHg.

# J-MICCスタディ

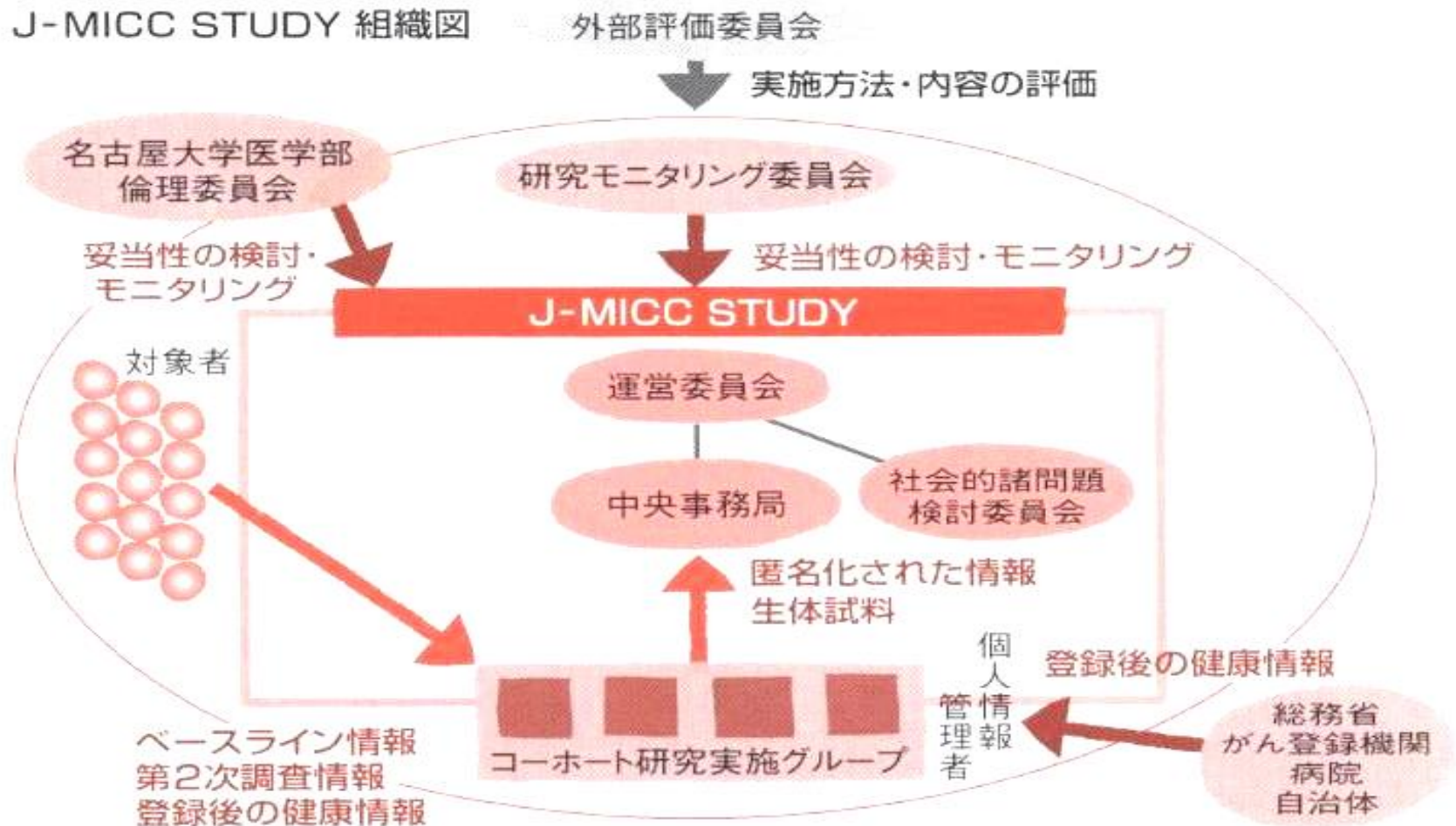
## Japan Multi-Institutional Collaborative Cohort ：日本多施設共同コホート

- 国内の多施設共同研究による大規模分子疫学コホート研究（主任研究者： 浜島信之 名古屋大学大学院教授）。
- 文部科学特定領域研究「がんの診断と疫学・化学療法」内の「分子疫学コホート研究の支援に関する研究」の支援。
- 35歳～69歳の地域住民（男女）約10万人を対象に、アレル頻度1%以上の遺伝子多型を解析。
  - 2005～9年度・・・ベースライン調査
  - 2010～4年度・・・第2次調査
  - ～2024年度・・・追跡調査

# J-MICCスタディ

## Japan Multi-Institutional Collaborative Cohort : 日本多施設共同コーホート

J-MICC STUDY 組織図



21st Century



- Kyushu University -

九州大学 21世紀COEプログラム

ENGLISH

サイトマップ

拠点の連絡先

# 大規模コホートに基づく 生活習慣病研究教育

HOME

シンポジウム・  
セミナー

トピックス・  
お知らせ

研究拠点形成の  
目的・概要・特色

教育拠点形成

拠点の将来像と  
学術的・社会的意義

運営組織・  
事業推進担当者

大学院生・研究員・  
テクニカルスタッフ募集

生活習慣病の予防を  
目指したコホート研究  
へのご協力をお願い



# 山形大学医学部

○ トップページ

○ 新聞記事

○ 山形大学病院ニュースの記事

○ 動画配信 (講演会)

○ 地域特性を生かした分子疫学研究

○ 拠点形成推進協議会

○ 事業推進担当者

○ 学内専用ページ

○ 21世紀COEプログラム

(日本学術振興会)

## 21世紀COEプログラム

21世紀COE (卓越した研究拠点)  
「地域特性を生かした分子疫学研究」



# ながはま0次予防コホート事業

- 長浜市において参加を募り同意を得た協力者（約1万人）から、生活習慣・環境を中心とする質問票調査、血液等採取、関連検査などにより提供された検体とデータのバンク事業を運営し、将来、健康に関してゲノム情報を含む解析を実施する体制を整備。
- 長期間（10年以上）にわたって協力者の追跡調査を実施し、個人の疾病のかかりやすさを予測する「遺伝子多型」や、個人の疾病の罹患と生活習慣・環境との関連を検討。

# 滋賀県長浜市

